

教育委員会における子どもと親の総合支援の取り組み

資料 1

◆は平成30年度の
新規又は拡充事業

＜教育委員会の役割＞

ナゴヤ子ども・親総合支援推進調整会議
Mission1 子ども・若者の自立支援

◎(2つ目の柱)子どもの将来の針路の応援

★「キャリア支援」の定義

個別の子どもの発達過程を見る「開発的支援」において「移行(進級・進学・就職など)」を支援すること。

★移行の支援とは

子どもが「自分の好きなこと、やりたいことをする」、「自分なりに幸せに生きることを探る」を応援する。

キャリア支援モデル事業

小・中学校での支援

◆小学校16校での試行実施
中学校に配置されている子ども応援委員会スクー
ルカウンセラーと小学校が連携し、一人の子どもの
発達の様子を9年間途切れなく見守る。

高等学校での支援

◆スクールカウンセラー
常勤→1校に新規、非常勤→時間増
◆キャリア支援アドバイザー
普通科・特支→新規、専門・定時制→拡充

各市大との連携

◆「なごやキャリア支援」の構築
日本や諸外国でのキャリア支援に係
る現状調査や基本方針の作成を実施し、
子ども応援委員会職員に研修を実施。

学び・成績不振

◆夏季休業中の特設講座 80校(40校増)
◆ブレゼンテーション能力の育成
○学習指導支援講師の配置

教育・養育上の悩み

◆医療的ケアが必要な児童生徒の学校生活支援
◆高等学校給付型奨学金の支給
○発達障害対応支援員の配置
○特別支援学校高等部における職業教育の充実 等

いじめ

◆報告相談アプリ(SNSを通じたいじめ相談の導入
で効果検証)⇒19校(中16校、高3校)で試行実施
○なごやINGキャンペーンの実施
○学校生活アンケート(ハイパーQU)の実施
○ネットパトロールの実施

なごや子ども応援委員会

②⑧相談実績 12,078件
◆スクールカウンセラー 84人(26人増)
※学校への配置数
◆スクールソーシャルワーカー 20人(2人増)
◆キャリア支援のための研修の実施

不登校・教育相談

○子ども適応相談センター
②⑧相談実績
通所者420人、学校復帰者183人
○ハートフレンドなごや
②⑧相談実績 859件、8,976回

連 携